

パネル発表「愛知県獣医師会の学校飼育動物への取り組み」

杉本寿彦 三浦裕之

愛知県獣医師会では2003年度より、学校動物飼育支援委員会をもうけ、学校飼育動物の問題に取り組んで参りました。

2007年度、2008年度は愛知県の畜産課の事業「農楽の先生」に協力し、愛知県内の小学校で学校飼育動物の触れ合い教室を行い、また2009年度からは愛知県獣医師会の学校動物支援事業の一環として、

愛知県内の全小学校を対象に募集を行い、年間約20校に対し触れ合い教室を実施してきました。

実際に学校を訪問し、触れ合い教室を行うことで多くの先生たちと話をすることが出来、また今年度触れ合い教室を実施した小学校に対し、触れ合い教室の感想、児童の反応、今後の要望などのアンケートを採った結果、小学校がこのような活動の必要性を感じ、また期待をされていることを実感することが出来ました。

ただ県獣医師会の組織としては、同じ学校を継続して支援を行っていくことは不可能なため、学校が地元の獣医師会を通じて継続的に獣医師の支援を受けられる体制を全県的に作り上げることを目標にしています。

各市町村単位の獣医師会での学校飼育への取り組みも徐々に広がりを見せておりますがまだまだ十分な物とは言えず、今後の大きな課題です。

そのためのきっかけ作りとして、地元獣医師会の学校飼育動物への支援体制が出来ていない地域において今後も県獣医師会として触れ合い活動を続けていきます。

また、愛知県獣医師会では、獣医師会が学校の飼育動物に対しての支援活動を行っ

ていることやその内容を多くの学校に知っていただき、獣医師と学校とをつなぐアイテムとして先に福井県獣医師会が行っていた「壁新聞」のアイデアを頂き、愛知県独自の壁新聞を作成いたしました。

壁新聞を採用しようと思ったときに一番のネックになったのは、各自が病院の仕事を抱えながら記事の執筆から構成までの手間を考えると、長く継続して行えるかと言うことでした。

そこで愛知県獣医師会では委員の友人に学習漫画家で多くの小学生向けの学習本を手がける熊谷さとし氏がいたことから、彼にイラスト、構成をお願いし、子供たちに親しみやすい紙面にすることを考え、またなぞなぞ王選手権のチャンピオンでもある熊谷氏に、毎号クイズを作っていただき、楽しんでみてもらえる物になっています。

今後、紙面に出てくるキャラクターの名前募集やイラスト募集など、こちらからの一方通行ではなく、学校からも反応のいただける物に育てていきたいと思っています。

壁新聞は毎年春夏号、秋冬号の2回発行を予定しております。

そのほか、愛知県では教員研修や飼育相談、父兄への講演なども受け付けています。

愛知県獣医師会ではより安心して学校で動物が飼育でき、子供たちが楽しんで飼育に取り組める環境を作り上げるお手伝いを続けていきたいと思っています。

((社)愛知県獣医師会

学校動物飼育支援委員会)

